

令和5年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第一小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 昨年度の課題について

- ・経験できる運動や運動量に制限があり、学校で運動を経験する機会が少ない。
- ・運動が得意な児童、苦手な児童また、1週間における運動時間の多い児童、少ない児童の差が大きい。
- ・体力調査の結果において、50m走とソフトボール投げの結果が東京都の平均を下回る学年が多くあった。

(2) 今年度の課題について

- ・＜高学年＞
- ・昨年度の体力テストの結果より、男女ともに持久力・瞬発力・投げる力が全国平均を下回っていた。
- ・休み時間は週一回しか遊べないため、運動不足が否めず、体力の低下を感じる。
- ・器械運動において経験不足のためか、以前に比べできる技が減ってきた。
- ・ボール運動では、試合の勝敗にこだわり、フェアプレイでゲームを行えない子がいる。

＜中学年＞

- ・校舎改築に伴う運動場所の制限がある。そのため運動をする機会の減少、体力の低下、運動を通じた人間関係の構築の機会が少ない。
- ・朝活や習い事などで体を動かす機会が多い児童とほとんど体を動かす機会がない児童がおり、運動する機会が多い児童と少ない児童が二極化している。

＜低学年＞

- ・校庭が狭く、休み時間に週一回しか遊べないため、思いっきり体を動かすことができず、日常的な運動不足が見られる。
- ・特に水遊びの学習では、幼児期がコロナ渦だったこともあり、経験が乏しい児童とスイミングスクールに通っている児童とで、経験の差が大きい。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・児童が成功体験を得やすいように課題やルール・場の設定を緩和する。・優しい運動遊びを通して運動の楽しさに触れ、基本的な動きを身に付けられるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・運動遊びをする場や練習の仕方などを工夫したり、選択したりして、自己にあった楽しみ方を見付けられるようにする。・工夫したことを他者に伝えられるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・順番や決まりを守り、だれとでも仲良くし、良好な人間関係の中で、運動遊びができるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・タブレットで自分の動きを撮影したり友達の動きを撮影したりして、自分の動きを客観的に捉えられるようにする。・運動の楽しさを味わうことと、技能を向上させることをバランスよく計画的に設定する。	<ul style="list-style-type: none">・体育ノートに運動のポイントや友達の動きの良さを記入し、言語化させることで、自分の運動の課題を見つけるようにする。・児童同士がコミュニケーションを図ることができるような時間を十分に確保する。	<ul style="list-style-type: none">・児童同士の対話の場をたくさん設けることで、運動への意欲を高められるようにする。・スモールステップで課題を解決していけるように授業を組めるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・体づくり運動（体力を高める運動）を通して、持久力を高めるよう指導する。・児童一人一人に技能に関する具体的なめあてをもって学習に取り組ませ、次の学習に生かせるようにする。・グループ活動での教え合いやスモールステップでの活動を通して、それぞれの運動の特性に応じた技能が身に付けられるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・タブレットパソコンやデジタル教材、映像などを活用し、自分の動きを見たり、よい動きを見合ったりする活動を積極的に取り入れる。・ペアやグループで学習に取り組ませる。見合うポイントを指導し、それができたかできないかを児童同士で考え、伝え合う場を設ける。・学習カードを活用し、めあてに対する自分の学習の様子や成果を振り返らせる。	<ul style="list-style-type: none">・運動の楽しさや喜びを一層深められるよう、運動の特性やよさを指導する。・児童同士が励まし合い、認め合う場を多く設定し、運動する意欲を高められるようにする。